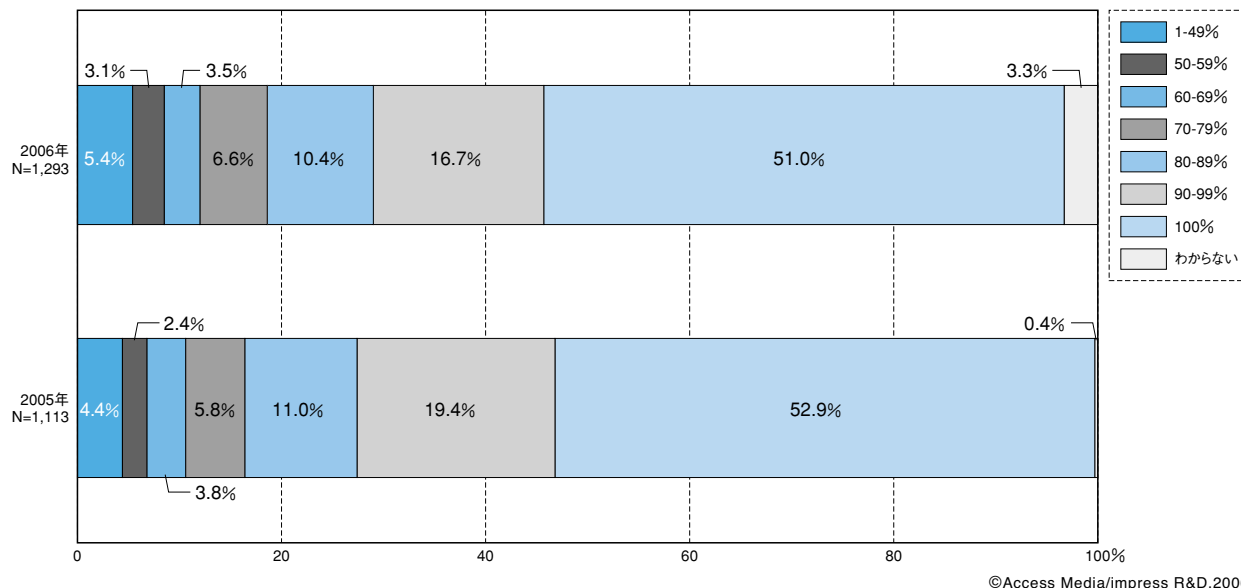


利用機器

51.0%がインターネット利用可能なハードウェア比率100%

資料3-4-5 インターネット利用可能なハードウェア比率 [2005年-2006年]

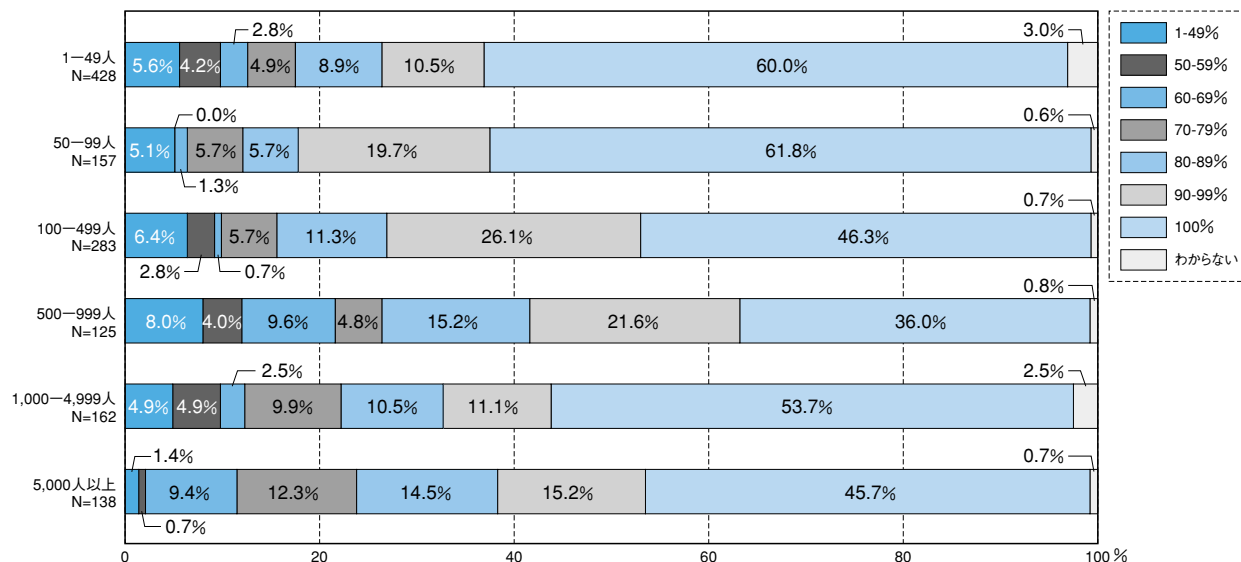


©Access Media/impress R&D,2006

過半数の企業で100%と高い比率である。なお、「コンピュータ関連卸・小売業」「製造業」「サービス業」で比率が高い。一方、「学校・教育業」「運輸・倉庫業」「医療・病院」では、社内/構内の規制もあるとみられ、全社での比率は低い。

小規模企業の6割以上で100%に

資料3-4-6 インターネット利用可能なハードウェア比率 [従業員規模別]



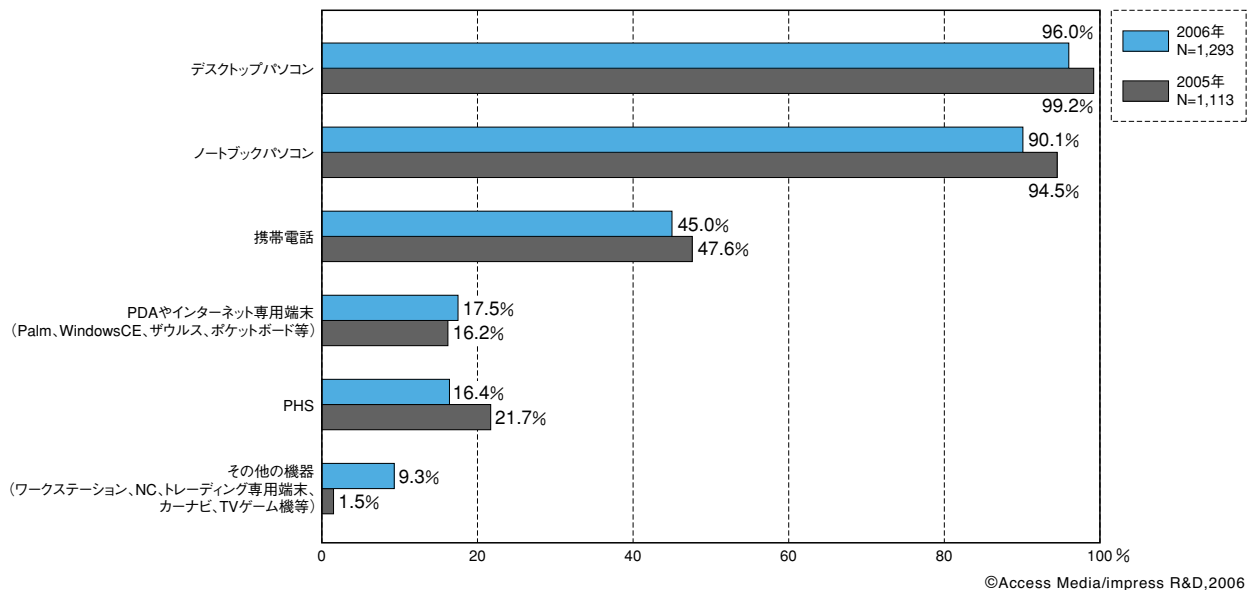
©Access Media/impress R&D,2006

従業員規模別で見ると、規模が小さいほどインターネット利用可能なハードウェアの比率が高い。一方、1,000人以上の大規模企業は、ネットワークの一括管理のため、社員のネットワーク環境に統制がとれていることなどが考えられ、インターネット接続ハードウェアの比率が高いと思われる。

利用機器

パソコンが9割以上を占め、モバイル利用も増加

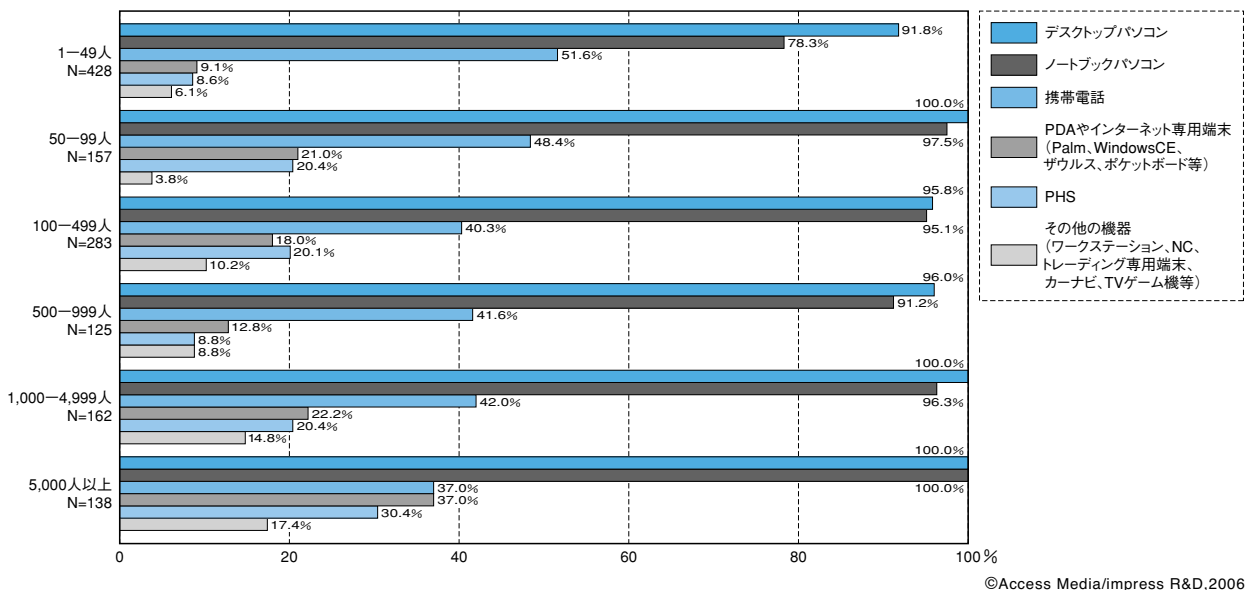
資料3-4-7 インターネット利用可能な機器（複数回答）[2005年-2006年]



インターネット利用可能な機器は2005年同様「デスクトップパソコン」「ノートブックパソコン」で9割以上を占める。またモバイルの積極的な活用がうかがえる、「PDAやインターネット専用端末」「その他の機器」などの利用が増加しているのが特徴である。

大規模企業のネット接続機器の種類は平均3.2台

資料3-4-8 インターネット利用可能な機器（複数回答）[従業員規模別]



大規模企業では「携帯電話」「PDAやインターネット専用端末」の利用も高い。平均台数は5,000人以上で3.2、1,000-4,999人で2.95。中小規模では「サービス業」「運輸・倉庫業」等で「携帯電話」の比率が高く、集荷/配送など業務で利用している状況が考えられる。



[インターネット白書 ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<http://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、データ、URL、名称など)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真・図の作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレスR&D)などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D(初期は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めました。すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D

✉ iwp-info@impress.co.jp